

## 研究成果及び活動一覧 (2006. 1. 1~12. 31)〔五十音順〕

- A : 著書、論文、書評など  
 B : 学会での口頭発表その他の活動  
 C : 講演、論説など  
 D : 学術的調査

## 井川健司

- C : 1 「速水宗達と二人の門人—盈仁親王と池田治政—」、宗達・宗仁宗匠法要。於法泉寺、10.22
- D : 1 茶道速水流流祖速水宗達の伝記研究の為の調査：岡山大池田文庫池田治政日記（宗達、治政に初めて目見ゆ。岡山藩茶頭役、の確認その他）3.06-3.12
- 2 同：速水邸にて調査。茶の湯日記・茶の湯扣（東北大狩野文庫）の一部貴人と門人帳との照合。『槐記』山科道安自筆本による宗達書写本（但し一部分散佚）発見、3.26-3.29
- 3 同：速水邸にて調査。松平不昧『古今名物類聚』の宗達模写本について。1780年代より十数年に亘り版行されているが、原本よりの写しの可能性大（鈴木一氏）、不昧と宗達とのつながりを探った。10.20-10.23
- 4 2年日本文化研究の京都研修は建築と庭園がテーマ。両者が日本文化の柱に位置することを実感、「文化」概念の拡大に成果があった。9.11-9.16
- 5 授業の補完を目的に茶道部新設。ハイ・レベルの指導者の奉仕のもと、厳しい稽古と合間の小講義により体験学習中。

## 岡田恒雄

- B : 1 研究発表：„Über das Kabuki-Gemälde in der Theaterwissenschaftliche Sammlung von Universität zu Köln“（ケルン大学演劇学文庫の歌舞伎絵資料について）早稲田大学演劇博物館 COE 研究グループ 民俗芸能研究会、早稲田大学政経学部ドイツ語（G. ツォーベル）研究室、5.24（ドイツ語発表）
- 2 学会シンポジウム/パネリスト：「国際化する能～プレヒト没後50年～」(「プレヒトと東洋演劇—『谷行』の改作—」について発表)、世阿弥学会、文京シビックセンター研修室、8.8
- 3 研究発表：「ベルリーナー・アンサンブルのプレヒト没後50年祭」、ゲストウスの会、劇団展望アトリエ、10.29
- D : 1 早稲田大学演劇博物館 COE 研究グループ「民俗芸能研究会」の研究協力者として、研究活動をした。2月22~25日：ケルン大学演劇学文庫、2月25~27日：フランクフルト世界文化博物館、2月27~3月1日：ベルリーナー・アンサンブル、3月1~4日：トゥリーア大学、8月25~9月4日：ベルリーナー・アンサンブル、9月5~9日：ケルン大学演劇学文庫

加藤めぐみ

- A : 1 “Australian Literary Reflection on the Pacific War since the 1960s”、『明星大学研究紀要』日本文化学部・言語文化学科 第14号、pp.63-89、3.25
- 2 シンポジウム報告：「オーストラリア文学とアジア」、第16回オーストラリア学会シンポジウム“Australian Culture: Surviving the 21st Century”、『オーストラリア研究』第18号、pp.24-28、3.25
- 3 平成16・17年度科学研究費補助金 基盤(C)(2) 課題研究「多文化社会オーストラリアの現代文学に観る日本人像について」研究成果報告書、全60ページ、6.30
- 4 シンポジウム報告：「豪文学作品にみる太平洋戦争の記憶」、第17回オーストラリア学会シンポジウム「太平洋戦争をめぐる歴史認識と日豪関係」、『オーストラリア研究19号』、pp.29-32、12.25
- B : 1 学会シンポジウム：「豪文学作品にみる太平洋戦争の記憶」、シンポジウム「太平洋戦争をめぐる歴史認識と日豪関係」、オーストラリア学会第17回全国研究大会、慶應義塾大学、6.12
- 2 オーストラリア学会理事、『オーストラリア研究』第19号 編集委員
- 3 オーストラリア・ニュージーランド文学会理事、『南半球評論』第21・22号編集委員
- C : 1 「オーストラリア文学と日本」、国際交流基金・異文化理解セミナー「太平洋理解講座」、日本教育会館、3.9
- 2 「文学に見るオーストラリアの社会と文化」、早稲田オープン・カレッジ「世界を知る—オーストラリアの歴史・社会・文化」、7.1
- D : 1 「多文化社会オーストラリア文学に観る日本人像について」及び「オーストラリア文学と太平洋戦争の記憶」：オーストラリア、キャンベラにおいて資料調査、研究打ち合わせ、3.12-19
- 2 「戦争・市民・ネイション—オーストラリアにおける太平洋戦争の体験と公的記憶の位相」、りそなアジア・オセアニア財団助成共同研究：オーストラリア、ブリズベン及びダーウィンにおいて資料収集、7.28-8.4

勝又 基

- A : 1 (論文)「綱吉の孝行奨励と諸作品の成立 ——駿河国五郎右衛門をめぐる(一)」、『明星大学研究紀要 日本文化学部・言語文化学科』第14号、pp.73-83、明星大学青梅校、3.25
- 2 (論文)「孝子説話と表彰 ——駿河国五郎右衛門をめぐる(二)」、『理想と現実』(明星大学青梅校日本文化学部共同研究論集・第9集)、pp.283-304、明星大学日本文化学部、3.20

- B : 1 国文学研究資料館研究プロジェクト「近世後期小説の様式的把握のための基礎研究  
(代表 大高洋司) 共同研究員
- 2 国文学研究資料館研究プロジェクト「19世紀の出版と流通(代表 大高洋司) 共同研究員
- 3 (学会活動) 日本近世文学会ホームページ委員
- 4 (口頭発表)「岡山藩の孝子表彰と説話」、第27回「書物・出版と社会変容」研究会  
(於 一橋大学佐野書院)、9.9
- D : 1 言語文化学科主催の文化講演会において座談会「歴史と文学」(永井路子氏・三橋正・勝又) 聞き手。
- 2 蒼星祭において落語会「寄席蒼星亭」(出演…林家彦いち) 主催、10.8
- 3 授業「古典講読C(漢文で読む近世怪談)」の一環として、講談師の神田陽子先生を招いて「神田陽子の演じる怪談教室」主催、11.21
- 4 言語文化学科主催の文化講演会(中野三敏氏「近世再考——そして近代の成熟へ」) コーディネートおよび司会進行、座談会「江戸の文化と芸術」(中野三敏氏・古田島洋介・勝又) 聞き手、11.25

#### 古田島洋介

- A : 1 講演録:「心の教育・魂の教育に向けて」、日台交流教育会紀要第29号、pp.22-25、2.11
- 2 論文:「『亜墨竹枝』全篇注解——日本におけるアメリカ観の出発点」、明星大学青梅校日本文化学部共同研究論集・第九輯『理想と現実』([編集責任者] 和田正美、明星大学日本文化学部) pp.117-188、3.20
- 3 論文:「返り点を正しく打つために——現行返り点法の要領——」、明星大学紀要「日本文化学部言語文化学科」第14号、pp.1-23、3.25
- 4 書評: 宇野直人『漢詩の歴史——古代歌謡から清末革命詩まで』(東方書店)、「東方」2006年4月号、pp.12-15、4.5
- 5 論文:「日本漢詩文の衰亡曲線——漢詩文の伝統はいつ滅びたのか?——」、東アジア比較文化国際会議日本支部「東アジア比較文化研究」第5号、pp.68-79、8.31
- 6 講演録:「東アジアにおける国際理解の現状と課題」、日台交流教育会紀要第30号、pp.30-33、12.15
- B : 1 学会講演:「返り点指導の陥穽」、「東アジア比較文化国際会議」2006年度日本支部大会、明星大学青梅校、6.10
- 2 学術講演:「日本近代文学の〈不易〉と〈流行〉」、嶺南大学校文科大学日語日文学科学術講演会、大韓民国・慶山市、6.14
- 3 学術講演:「日本古典文学の三大主題」、チュラロンコーン大学文学部日本語講座講演会、タイ・バンコク市、8.17
- 4 シンポジウム/日本代表基調報告:「重新反省比較文化的研究方法:森鷗外与潘飛

- 声」[中国語]、国際学術研討会「東亜文化的継承与揚棄——東亜共同体文化基盤形成之探討」、東アジア比較文化国際会議 2006年上海大会、復旦大学日本研究中心、中国・上海市、9.9
- 5 学術講演：「日本文学的三大伝統主題」[中国語]、重慶師範大学文学・新聞学部大学院、中国・重慶市（旧校区）、9.12
- 6 学術講演：「日本文学的三大伝統主題」[中国語]、重慶師範大学文学・新聞学部、中国・重慶市（新校区）、9.13
- C : 1 特別講義：「現行返り点法の要領——原則と規定および実践練習——」、東北大学大学院国際文化研究科比較文化論講座講演会、東北大学川内キャンパス、2.3
- 2 論説：続々・漢詩人としての大正天皇「御作風と文学史上の位置付け——竹枝詞の視点から見た御製詩——」、「正論」平成18年8月号、pp.326-337、7.1
- 3 スクーリング講師：「漢文学A：訓点の基礎と訓読の実践」、法政大学通信教育部2006年度夏期教室授業第1群、法政大学、7.20-26
- 4 集中講義：日本文学特講「漢詩文における日本語——漢文訓読の基礎事項と実践練習——」、チュラロンコーン大学文学部大学院日本語日本文学専攻修士課程、タイ・バンコク市、8.9-17
- D : 1 学術調査：潘飛声《説劍堂集》字句同定調査、国家図書館（中文書庫）、台湾・台北市、12.29

#### 佐々木滋

- A : 1 「頭脳錠前師」（抄訳）、「明星大学研究紀要 日本文化学部・言語文化学科」第14号、pp.107-118、明星大学青梅校、3.25

#### 柴田雅生

- A : 1 （論文）「イエズス会版国字本の表記にみるキリシタンたちの理想と現実——ルビの組版方法をめぐって——」、「明星大学青梅校日本文化学部共同研究論集・第九輯理想と現実」、p.189-218、3.20
- 2 （資料紹介）「明星大学蔵 奈良絵本『新曲』釈文」、「明星大学研究紀要 日本文化学部言語文化学科篇」第十四号、p.85-106、3.25

#### 正慶 孝

- A : 1 論文「近代市民社会の奴隷的性格について」、「明星大学言語文化学科紀要」、平成18年3月25日、pp.25-40
- 2 論文「反戦思想としての『戦争論』とドイツ参謀本部」、「明星大学日本文化学部共同研究論集」（第九輯「理想と現実」）、平成18年3月20日、pp.41-77
- 3 論文「擬制の終焉——国家目標なき日本」、「自由」9月号、自由社、平成18年9月1日、pp.24-39

- 
- 4 論文「人間の歴史としての戦後昭和史」、(千葉仁志著『昭和史の謎を解く名著 60 冊』所収序文)、清流出版、平成 18 年 5 月 5 日、pp.1-20
- B : 1 研究発表「日本的教養の時代を読む」、東京学芸大学共同研究プロジェクト「日本人のアイデンティティ形成と学校カリキュラム」、於東京学芸大学、平成 18 年 4 月 22 日。
- C : 1 講演「IT 時代のライフ・スタイル宣言——新しい未来社会の展望」、神道時事問題研究会、於高円寺・氷川神社、4 月 3 日。
- 2 講演「IT 時代のライフ・スタイル」、世界経営協議会、於虎の門商工会館、6 月 26 日。
- 3 寄稿記事「情報と森鷗外」、『国際商業』7 月号、国際商業出版社、p. 133
- 4 同上「会社とは『同じ釜の飯を食べる仲間』」、『国際商業』8 月号、国際商業出版社、p. 132
- 5 同上「資本主義と武士道」、『国際商業』9 月号、国際商業出版社、p. 144
- 6 同上「シェイクスピアと経済学」、『国際商業』10 月号、国際商業出版社、p. 156
- 7 同上「シュムペーターと革新」、『国際商業』11 月号、国際商業出版社、p. 132
- 8 同上「化粧と宇宙」、『国際商業』12 月号、国際商業出版社、p. 144
- 9 同上「IT 時代のライフ・スタイル宣言——新しい未来社会の展望」、『神道時事問題研究』、神道時事問題研究会、平成 18 年 6 月 1 日号。
- 10 同上「現代的教養 (I)」(花園神社片山宮司との対談)、『神道時事問題研究』、神道時事問題研究会、平成 18 年 7 月 1 日号。
- 11 同上「現代的教養 (II)」(花園神社片山宮司との対談)、『神道時事問題研究』、神道時事問題研究会、平成 18 年 7 月 15 日号。  
(参考『「ファウスト」の時代の終焉』、平成 17 年 11 月 1 日号、「ブラジルの国旗」平成 17 年 12 月 1 日号、いずれも『神道時事問題研究』)
- 12 談話記事『東京新聞』3 月 10 日付、「こちら特報部、遺失物法半世紀ぶりに改正」。
- 13 談話記事『ダカーポ』、592 号、2006 年 10 月 4 日、p. 34
- 14 談話記事『ダカーポ』、595 号、2006 年 11 月 15 日、p. 31
- 15 寄稿記事「武道と 3H」、『国際松濤館会報 天地人』、国際松濤館空手道連盟、7 月 25 日。
- D : 1 学術調査、東京学芸大学共同研究プロジェクト「日本人のアイデンティティ形成と学校カリキュラム」に関する実地調査、奈良・飛鳥方面、3 月 19 日—21 日。

#### 田村良平 (筆名：村上 湛)

- A : 1 論文：「復曲能〈鐘巻〉制作覚書～平成 17 年 11 月・国立能楽堂上演メモ～」、『明星大学日本文化学部編・明星大学青梅校日本文化学部共同研究論集・第九輯～理想と現実』、pp. 241-253、3. 20

- 2 評論：「千作浄福～2月の能・狂言～」、『能楽タイムズ』4月号、能楽書林、4.1
- 3 評論：「萬斎の『うち』と『そと』～8月の能・狂言～」、『能楽タイムズ』10月号、能楽書林、10.1
- 4 評論：「水のあはれ～大槻文蔵の〈檜垣・蘭拍子〉」、『新能楽ジャーナル』33号、pp.4-7、たちばな出版、1.1
- 5 評論：「狂言の分かれ道」、『新能楽ジャーナル』34号、pp.4-7、たちばな出版、3.1
- 6 評論：「乾之助再説」、『新能楽ジャーナル』35号、pp.4-7、たちばな出版、5.1
- 7 評論：「再生〈高野物狂〉と復曲〈とちはくれ〉」、『新能楽ジャーナル』36号、pp.4-7、たちばな出版、7.1
- 8 評論：「静雪鏡之亟追善」、『新能楽ジャーナル』37号、pp.4-7、たちばな出版、9.1
- 9 評論：「うつろひゆく音色」、『新能楽ジャーナル』38号、pp.4-7、たちばな出版、11.1
- 10 評論：「文化功労者・藤田大五郎のいま」、『能楽タイムズ』1月号、能楽書林、1.1
- 11 評論：「塩津哲生〈三輪・神遊〉初演について」、『塩津哲生後援会会報第6号』、1.1
- 12 評論：「近藤乾之助の〈景清〉と宝生流の行方」、『能楽タイムズ』6月号、能楽書林、6.1
- 13 評論：「大槻文蔵〈檜垣・蘭拍子〉をふりかえる」、『第12回大槻文蔵の会パンフレット』、9.2
- 14 聞書：「この人に聞きたい～太鼓方・観世元伯（続）」、『新能楽ジャーナル』33号、p.18-19、たちばな出版、1.1
- 15 聞書：「藝を語る～富田清邦～」、『第20回富田清邦地歌箏曲演奏会パンフレット』、11.28
- 16 解説：「狂言〈福の神〉・能〈東方朔〉」、『国立能楽堂269号』、pp.4-5、独立行政法人国立能楽堂、1.5
- 17 解説：「狂言〈筑紫奥〉・能〈龍田〉」、『国立能楽堂269号』、pp.8-9、独立行政法人国立能楽堂、1.5
- 18 解説：「能〈張良〉・狂言〈酢薑〉・能〈羽衣〉」、『国立能楽堂269号』、pp.13-15、独立行政法人国立能楽堂、1.5
- 19 解説：「狂言〈鎌腹〉・能〈竹生島〉」、『国立能楽堂270号』、pp.8-9、独立行政法人国立能楽堂、2.9
- 20 解説：「狂言〈歌争〉・能〈忠度〉」、『国立能楽堂271号』、pp.4-5、独立行政法人国立能楽堂、3.11
- 21 解説：「狂言〈鐘の音〉・能〈桜川〉」、『国立能楽堂271号』、pp.6-7、独立行政法人国立能楽堂、3.11
- 22 解説：「狂言〈塗師平六〉・能〈采女〉」、『国立能楽堂272号』、pp.4-5、独立行政法人国立能楽堂、4.11

- 
- 23 解説：「能〈賀茂・御田〉・能〈摂待〉」、『国立能楽堂 272 号』、pp. 10-13、独立行政法人国立能楽堂、4. 11
- 24 解説：「平曲〈横笛〉・狂言〈越後掣〉・能〈巴〉」、『国立能楽堂 273 号』、pp. 10-11、独立行政法人国立能楽堂、5. 11
- 25 解説：「狂言〈舟船〉・能〈鶴〉」、『国立能楽堂 274 号』、pp. 6-7、独立行政法人国立能楽堂、6. 11
- 26 解説：「狂言〈饅頭〉・能〈松風・見留〉」、『国立能楽堂 275 号』、pp. 8-9、独立行政法人国立能楽堂、7. 6
- 27 解説：「狂言〈呂蓮〉・能〈砧・梓之出〉」、『国立能楽堂 277 号』、pp. 4-5、独立行政法人国立能楽堂、9. 7
- 28 解説：「狂言〈宗論〉・能〈枕慈童〉」、『国立能楽堂 277 号』、pp. 6-7、独立行政法人国立能楽堂、9. 7
- 29 解説：「狂言〈骨皮〉・能〈遊行柳〉」、『国立能楽堂 278 号』、pp. 4-5、独立行政法人国立能楽堂、10. 7
- 30 解説：「狂言〈鏡男〉・能〈女郎花〉」、『国立能楽堂 279 号』、pp. 4-5、独立行政法人国立能楽堂、11. 5
- 31 解説：「狂言〈雁磔〉・能〈江口〉」、『国立能楽堂 280 号』、pp. 4-5、独立行政法人国立能楽堂、12. 5
- 32 解説：「狂言〈成上り〉・能〈羽衣・瑞雲之舞〉・狂言〈萩大名〉・能〈石橋・大獅子〉」、『第 25 回日比谷シティ夜能パンフレット』、10. 11
- 33 解説：「狂言〈寝音曲〉・能〈石橋・三ツ臺〉」、『第 4 回塩津哲生の会パンフレット』、10. 14
- 34 解説：「狂言〈塗師〉・能〈葛城・真之序〉」、『第 11 回杉並ろうそく能パンフレット』、11. 10
- 35 評談：「能界展望～能の演出と興行をめぐる」、『新能楽ジャーナル』35 号、pp. 13-17、たちばな出版、5. 1
- 36 評談：「能界展望～能の演出と興行をめぐる (2)」、『新能楽ジャーナル』36 号、pp. 13-17、たちばな出版、7. 1
- 37 評談：「能界展望～能の演出と興行をめぐる (3)」、『新能楽ジャーナル』37 号、pp. 13-17、たちばな出版、9. 1
- 38 評談：「能界展望～観客とスター」、『新能楽ジャーナル』38 号、pp. 13-17、たちばな出版、11. 1
- B : 1 平成 18 年度芸術選奨推薦委員 (演劇部門)
- 2 平成 18 年度第 61 回文化庁芸術祭執行委員会執行委員・同審査委員 (舞踊部門)
- 3 平成 18 年度文化庁芸術創造活動重点支援事業等協力者会議委員 (舞踊部門) ※前年度から継続
- 4 平成 18 年度文化庁芸術創造活動重点支援事業等協力者会議委員 (伝統芸能部門)
- 5 平成 18 年度独立行政法人日本芸術文化振興会芸術文化振興基金運営委員会伝統芸
-

能専門委員会専門委員

- 6 表千家東京都青年部長
  - 7 『新能楽ジャーナル』編集委員
  - 8 「真間山弘法寺薪能」にて新作能〈真間の手見奈〉の上演台本執筆作成・制作助言を勤める。(10.9日蓮宗大本山真間山弘法寺にて初演。原案：弘法寺貫首・石野日英師、シテ：梅若六郎)
  - 9 「中村京蔵創作のタベ」にて新版〈山月記〉の上演台本執筆作成・制作助言を勤める。(10.27 鏡仙会能楽研修所にて初演。主演：中村京蔵、賛助出演：高澤祐介、演出：萩原朔美、振付：藤間勘十郎、照明：北寄崎嵩)
  - 10 「第20回富田清邦地歌箏曲演奏会」の制作助言を務める。(11.28 紀尾井小ホールにて公演)
- C :
- 1 講演：「能楽鑑賞講座～2月の能と狂言」、国立能楽堂公開講座、1.25
  - 2 講演：「能楽鑑賞講座～3月の能と狂言」、国立能楽堂公開講座、2.22
  - 3 講演：「能楽鑑賞講座～4月の能と狂言」、国立能楽堂公開講座、3.22
  - 4 講演：「大牟田能上演解説～能〈巴〉について～」、大牟田文化会館小ホール、5.14
  - 5 講演：「大本山永平寺主催・第7回夏期大学講座〈禅といま〉能の道ひとすじ～斯道五十年を聞く(梅若六郎氏との対談)」、東京グランドホテル桜の間、7.26
  - 6 講演：「能を知る会～能〈葛城〉について～」、資生堂銀座本店、9.11
  - 7 講演：「第1回札幌能学校～能の魅力～(塩津哲生氏との対談を含む)」、札幌市教育文化会館小ホール、11.6
  - 8 講演：「馬場あき子・創作〈橋姫〉の世界」、セルリアンタワー能楽堂、12.2
  - 9 講演：「能楽基礎講座特別編・馬場あき子能楽の楽しみ第3回～能〈融〉～(馬場あき子女史への賛助出演。塩津哲生氏との対談を含む)」、新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)能楽堂、12.16
  - 10 講座：「能をどう見るか～鑑賞と批評文の執筆～」、朝日カルチャーセンター新宿校、11.15、29、12.20
- D :
- 1 日本文化演習IB(2年次)にて、『源氏物語』葵の巻を学生と共に読む。
  - 2 学生有志を率いて能〈葛城〉を見る。11.10(杉並ろうそく能)、12.10(宝生会月並能)。
  - 3 学生有志と共に世阿弥『風姿花傳』輪読会を催す。

西本絹子

- B :
- 1 学会シンポジウム(企画・司会)「巡回相談の理論と実践—応用行動分析・心理臨床・発達臨床の立場から—」、第17回日本発達心理学会、九州大学、3.21
  - 2 研究レポート「視覚障害・知的障害を持つ小学校高学年女児の行動障害の理解と対応」、東京発達相談研究会、8.28
  - 3 学会発表「小学生の発達臨床—学校・学童保育で発達に困難を抱える子どもたち



- を支援する～学童保育において対人関係と自律の力を獲得していった高機能広汎性発達障害児の事例～」、心理科学研究会秋期全国集会、10.22
- 4 研究レポート「高機能広汎性発達障害を持つ幼児の発達アセスメントと家族支援」、東京発達相談研究会、12.11
  - 5 日本臨床発達心理士会・臨床発達心理士資格認定委員会、指定科目講習会講師
  - 6 学会連合格「臨床発達心理士」認定運営機構・臨床発達心理士資格認定委員会、審査委員
- C : 1 「軽度発達障害児の理解と支援～幼児期後期を学童期の育ちへどうつなぐか～」、高崎市幼児問題協議会講演、高崎シティギャラリー、2.2
- 2 「子どもの発達とこれからの子育て支援のあり方～乳幼児期から学童期にかけての発達に困難を抱える子どもたちへの発達支援と、機関の連携～」、群馬県総合教育センター平成17年度障害児保育・教育・相談担当者連絡会講演、群馬県総合教育センター、2.15
  - 3 「障害児保育1・2」、大谷保育協会東京第4回保育心理士養成講座、大正大学、5.13
  - 4 「保育支援におけるアセスメント」、日本臨床発達心理士会・臨床発達心理士資格認定委員会指定科目講習会、7.30
  - 5 「幼児臨床心理学」、千葉大学教育学部集中講義、8.7～9
  - 6 「事例をもとに保育の質を高める交流会」、八王子市平成18年度障害児等保育研修会、八王子市役所、9.11
  - 7 「軽度発達障害児の集団の中での育ちを促す取り組み」、杉並区平成18年度障害児受け入れ学童クラブ担当者会実践交流会、杉並区立児童青少年センター「ゆう杉並」、9.13
  - 8 「軽度発達障害の理解と支援」、平成18年度岩手県放課後児童クラブ職員等研修会、岩手県立児童館いわて子どもの森、11.12
- D : 1 事例検討を通した学童保育指導員に対する研修の効果と意義について：杉並区立学童保育指導員に対するインタビュー、アンケート調査及びスーパーヴィジョン、8.17、8.25、8.28、9.4、9.13
- 2 地域の統合保育のシステム作りを支援する研修型コンサルテーションの検討：八王子市保育園・保健センター・地域子ども家庭支援センター職員等に対するアンケート調査とスーパーヴィジョン、9.4、9.11、10.28、12.27
  - 3 「岩手県立児童館いわて子どもの森」施設と活動内容視察、及び岩手県放課後児童クラブ職員等に対するアンケート調査、11.11～11.12

## 服部 裕

- A : 1 「ペーター・ハントケの文学における自然描写が持つ近代批判的な意味に関する研究」、平成15年度～平成16年度科学研究費補助金（基盤研究（C）（2））研究成果

報告書、課題番号 15520145、研究代表者 服部裕、80 ページ。

**林 雄介**

- B : 1 朝鮮史研究会幹事長、年間  
2 歴史科学協議会編集委員、年間
- C : 1 「植民地アーカイブズ論」(大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館主催「平成18年度アーカイブズカレッジ—史料管理学研修会」講師)、7.21
- D : 1 朝鮮総督府関係文書の所在状況調査：巻岐市立郷ノ浦町図書館等において資料調査、1.16-1.19  
2 朝鮮総督府関係文書の所在状況調査：米国国立公文書館において資料調査、2.6-2.13  
3 朝鮮総督府関係文書の所在状況調査：福岡県立図書館等において資料調査、5.25-5.28  
4 朝鮮総督府関係文書の所在状況調査：大韓民国国立済州大学校等において資料調査、6.27-6.30  
5 朝鮮総督府関係文書の所在状況調査：九州大学森田文庫、佐賀県立名護屋城博物館等において資料調査、8.22-8.25  
6 朝鮮総督府関係文書の所在状況調査：米国国立公文書館および米議会図書館において資料調査、9.11-9.18

**菱山覚一郎**

- A : 1 「戦後教育改革の評価をめぐる研究動向」、『戦後教育史研究』(第19号)戦後教育史研究センター、pp.45-56、2.20  
2 共著：『教育方法の理論と実践』、「第1部 教育方法の理論」pp.11-79、「第2部 教育方法の実践」pp.81-151)、明星大学出版部、12.20
- D : 1 小学生の読書量と読書傾向についてのアンケート調査：学年ごとの傾向と保護者の読書に対する意識調査(平成18年度子どもの読書週間)、4.23-5.12  
2 昭和初期の民間教育運動について：南多摩地区の民間教育運動の現地調査と資料収集(戦後の民間教育運動への連続を中心に)、7.21-7.23

**秀村研二**

- B : 1 「変化する韓国社会とチップ(イエ) — 葬礼をめぐってみえるもの：韓国はどこまで父系社会か —」(国立民族学博物館共同研究会「家の人類学」)於東北大学東北アジア研究センター、10.21  
2 韓国・朝鮮文化研究会理事  
3 財団法人春風学寮評議員

- C : 1 「韓国社会における死の迎え方と葬送の変化」(環日本海医療論) 新潟大学医学部看護保健学科、5.22
- 2 「韓国のキリスト教—文化人類学の立場から」於日本基督教団新潟教会、6.17
- 3 コメンテーター、愛知大学第48回国際交流シンポジウム「韓国のキリスト教と伝統文化との弁証法的展開」於愛知大学、7.22
- 4 「結婚と離婚—大きく変わる「儒教社会」韓国」(武蔵野地域五大学共同教養講座「アジアの民族はいま」) 於成蹊大学、7.29
- D : 1 「韓国社会における民俗文化の変容に関する文化人類学的調査・研究」、大韓民国ソウル市、京畿道高陽市、京畿道坡州市、京畿道龍仁市、慶尚北道安東市、8.22-9.13

### 深澤 清

- B : 1 日本ユースホステル協会研究員 通年
- C : 1 編著書『自立心を育てる野外活動—自立と体験プログラム』明星大学一般教育1.15
- D : 1 学術調査：Public Footpath の教育的活用法について調査研究 (英国) (日本ユースホステル協会派遣) 9.18-28

### 丸山正義

- A : 1 翻訳：アンリ＝ルイ・ド・ラ・グランジュ：グスタフ『マーラー5 (承前) 過渡期 不安定、貧困、情熱 ヨゼフィーネ・ポイスル 社会主義者・菜食主義者マーラー リーピナーとの出会い (1878-1880)』、明星大学紀要「日本文化学部・言語文化学科」第14号、pp.111-118、3.25
- D : 1 2006年12月28日より実質四日間フランス・パリのマルモッタン美術館にてモネの作品及び同時に開催されていたモネ所蔵の浮世絵展を鑑賞。
- 2 全学共通科目「言葉・人間・行為」において宮沢章夫『14歳の国』第一部を読む。

### 三木友里

- B : 1 「中国甘南蔵族自治州の宗教と社会」、チベット文化研究会 2006年、法光大学、8.18
- C : 1 「現代中国人の文化観について」、財団法人日中文化交流財団第16回公開講座、3.13
- 2 「日本で活躍している中国人研究者の現状について」、中国 国家専門家局講演、6.2
- 3 「日中のアニメ文化交流のあり方について」、上海市政治協商会議講演、6.30

- D : 1 台湾のチベット仏教について：中国台北国家図書館において資料調査、8.10～9.10  
2 青蔵鉄路開通後、チベット民族の社会、文化、生活に対する影響：チベット大学、  
哲蚌寺において現地調査、12.27～1.7

### 三橋 正

- A : 1 「律令国家の祭祀—その理想と現実—」、『明星大学日本文化学部共同研究論集・第九輯 理想と現実』所収、pp.254-282、3.20  
2 「古代における伊勢神宮と天皇」、『明星大学紀要—日本文化学部言語文化学科—』14号、pp.53-60、3.25  
3 「明石入道と住吉信仰」、『人物で読む『源氏物語』』第12巻「明石の君」勉誠出版、pp.370-386、5.30  
4 「男の出家」、『人物で読む『源氏物語』』第11巻「朱雀院・弘徽殿太后・右大臣」勉誠出版、pp.382-386、5.30  
5 「女の出家」、『人物で読む『源氏物語』』第15巻「女三の宮」勉誠出版、pp.354-359、5.30  
6 「『麗気記』の構造と「神体図」—密教による神の理論化と図像化—」、速水侑編『日本社会における仏と神』吉川弘文館、pp.248-284、9.20  
7 「仏像の在処—八宮の仏像をめぐる(1)」、『人物で読む『源氏物語』』第18巻「匂宮・八宮」勉誠出版、pp.378-381、11.30  
8 「仏像の在処—八宮の仏像をめぐる(2)」、『人物で読む『源氏物語』』第19巻「大君・中の君」勉誠出版、pp.393-396、11.30  
9 「「宇治十帖」における「出家」」、『人物で読む『源氏物語』』第20巻「浮船」勉誠出版、pp.332-335、11.30
- B : 1 戒律文化研究会第五回大会実行委員長、神奈川県立金沢文庫、10.14/15  
2 日本仏教総合研究学会運営委員  
3 戒律文化研究会『戒律文化』第5号編集委員  
4 比較宗教精神史研究会会長
- C : 1 「日本の歴史と仏教」、清泉女子大学ラファエラアカデミア、4.15-6.17 (計3回)  
2 「陰陽道と貴族社会」、朝日カルチャーセンター横浜、6.3  
3 「日本的信仰構造と神仏習合」、真言宗智山派青年会、6.30
- D : 1 福井県白山神社(平泉寺)などの神仏習合について調査、5.12-5  
2 永井路子講演会・座談会を立案・実施、5.27  
3 「日本文化史」(1年生学科必修科目)における国分寺・東山道跡などの見学を実施、5.29  
4 早池峰山を中心とする東北地方の神仏習合について調査、7.16-18  
5 瑞巖寺など東北地方の神仏習合について調査、8.18-19

- 6 北九州の神仏習合について調査、9.10-15
- 7 新潟県の秘仏調査、10.13
- 8 琵琶湖周辺の秘仏調査、10.28-11.4
- 9 山梨県の秘仏調査、11.17
- 10 学生と平安時代史研究会を結成して儀式書を輪読。
- 11 小右記講読会で『小右記』長和二年条を『御堂関白記』などと比較しながら読む。
- 12 小右記講読会・読み直し会で『小右記』長元四年条の註釈（出版準備）作業を進める。
- 13 大正大学総合佛教研究所神仏習合研究会で『麗気記』後半の諸巻の註釈（出版準備）作業を進める。
- 14 速水侑古稀記念論文集編纂委員として研究会を開催し、8月に『奈良・平安仏教の展開』、9月に『日本社会における仏と神』を出版（共に吉川弘文館）、11月に記念祝賀会を開催。

#### 山下善明

- A : 1 「自著をふり返る」、多摩哲学会研究誌『パレーシア』第一号、pp.93-108、多摩哲学会、1.10
- 2 「池田善昭著『哲学のゆくえ』を読む」、立命館大学哲学会研究誌『立命館哲学』第17集、pp.97-130、立命館大学哲学会、3.21
- B : 1 研究会発表：「偶然を医やすもの」、土井道子記念京都哲学（代表上田閑照）平成18年度シンポジウム、京都ガーデンパレス・ホテル、9.3-5
- 2 「久しぶりに日本哲学会大会に参加するの記」、上智哲学会『学会だより』No.84、pp.10-11、10.1
- 3 第四回国際統合学会合同研究会：「複雑系から統合学へ」に於ける講演及びディスカッションの司会、KKR ホテル熱海、12.28-29
- 4 統合学術国際研究所研究員
- 5 多摩哲学会委員長及び同会研究誌『パレーシア』編集委員
- 6 NPO「場の研究所」理事

#### 山本陽子

- A : 1 （論文）「聖衆来迎寺蔵六道絵人道不浄相図に関する一考察—似て非なるもの—」『明星大学青梅校日本文化学部共同研究論集・第9輯 理想と現実』pp.219-240、明星大学青梅校日本文化学部、3.20
- 2 （論文）「聖衆来迎寺本六道絵「天道」幅小考」『明星大学研究紀要』[日本文化学部・言語文化学科紀要]第14号 pp.61-72、明星大学青梅校、3.25
- 3 （単行著書）『絵巻における神と天皇の表現—見えぬように描く—』中央公論美術出版、461ps、7.25

- B : 1 美術史学会常任委員（美術史学会賞選考委員・7月東支部例会担当）（～5月）  
2 （司会）美術史学会第59回全国大会27日午前第一分科会、於名古屋大学、5.27  
3 （学会発表）「聖衆来迎寺本六道絵「天道」幅について」早稲田大学美術史学会総会、於早稲田大学、6.24  
4 （司会）美術史学会7月東支部例会、於早稲田大学、7.22  
5 （学会発表）「聖衆来迎寺本六道絵「人道不浄相図に関する一考察」科研「交流と伝統の視点から見た仏教美術の研究—インドから日本まで—」研究会、於名古屋大学、7.29  
6 日本宗教文化史学会大会運営委員、於京大会館、11.25・26  
7 （学会発表）「金戒光明寺蔵地獄極楽図屏風の使用方法について」於日本宗教文化史学会第2回例会、於仏教大学、12.9
- D : 1 文章入門ゼミ生による『二枚の図版（架空の展覧会）』展カタログ作成、1・10  
2 造形芸術学部文献講読I・IIゼミ生と太田記念美術館（浮世絵の摺り実演）・出光美術館（歌仙絵）見学会、1.14  
3 畠山記念館にて冷泉為恭『小倉百人一首画稿』『聯珠百人一首』清書本の調査・撮影、3.7  
4 東大寺二月堂にて修二会见学、奈良国立博物館・京都国立博物館・東福寺涅槃会见学、3・12～3.14  
5 東京都現代美術館資料室にて柳瀬正夢の日記帳調査、3.16・17  
6 造形芸術学部文献講読2ゼミ生と出光美術館（所蔵品展）見学会、4.22  
7 造形芸術学部文献講読1ゼミ生と根津美術館（燕子花図屏風）見学会、4.29  
8 京都国立博物館（大絵巻展）・東寺宝物館見学、5.4  
9 文章入門ゼミ生による展示「空想美術館—解説が主役—」を行う、解説カタログ作成、7.5～7.12  
10 造形芸術学部文献講読1・2ゼミ生とプライスコレクション「若冲と江戸絵画」展、見学会、7.8  
11 一橋大学大学院造形芸術論IIゼミ生とプライスコレクション「若冲と江戸絵画」展、見学会、7.15  
12 京都国立博物館「美のかけはし」展にて「観興寺縁起絵」見学、7.30  
13 造形芸術学部文献講読1・2ゼミ生と国立近代美術館（平常展）見学会、10.14  
14 大津市歴史博物館にて「天台を護る神々」見学・調査、10.21  
15 造形芸術学部文献講読1・2ゼミ生と出光美術館（伴大納言絵巻展）見学会、10.28  
16 名古屋市博物館（比叡山と東海の至宝展）・平等院鳳凰堂修理所にて修理中の鳳凰堂天蓋・台座の修理見学、12.1

和田正美

- A : 1 （論文）「批評家における理想と現実—中村光夫の姿勢について」明星大学日本文化学部共同研究論集第9輯『理想と現実』pp.78-116、3.20

- 2 (論文)「シェイクスピアの或る場面の翻譯について」明星大学研究紀要〔日本文化学部・言語文化学科〕第14号 pp.41-51、3.25
- B : 1 研究発表:「ロバート・リンダのエッセイの特質について」、湘南英文学会 2006 年度秋季総会、9.16
- 2 明星大学日本文化学部共同研究論集第9輯の編集に従事す。